

保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人まんまる
施設名	まんまる保育室
報告者（役職）	福田弘美（代表）
住所・連絡先	神奈川県鎌倉市常盤 64-5
	☎ 0467-33-5840 E-mail manmaru@ace.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

乳幼児にとっての居心地の良さを大切に。心と体の発散を促す楽しい保育を。

○主な助成備品

プール、日除け

1. 保育計画策定の目的

平成 27 年 4 月に小規模保育事業 A 型として認可されました。定員 15 名で、小さなおうちのような保育所ですが、とにかくにぎやか！元気いっぱいのまんまる保育室です。看板に大きく「いっぱいわらお。」と掲げ、大人も子どもも毎日いっぱい笑って過ごしています。

まんまる保育室は、平成 22 年 4 月に無認可保育所として開園しました。今よりもっと小さな保育所で、六畳二間の平屋を借りて、何も無い中で保育をスタートさせました。そんな中、職員の息子さんのお下がりや知人からのいただき物の玩具にその都度感謝を抱きながら、とにかく楽しく！をモットーに運営して参りました。平成 25 年に、認可を目指し引っ越しをし、少しずつ大きくなっていく中で、「あれがあったらもっと楽しいかも！」と夢を膨らませていきました。

夏には小さなビニールプールで存分に水とたわむれ発散していましたが、もっと大きなプールがあったらあんなこともできる、こんなこともできる！と盛り上がる気持ちが抑えきれず大型プールの購入を考えました。また、ホールもない小さな保育室の中で、雨の日の発散遊びには様々な工夫を凝らしてきましたが、雨の日でも庭に出れたら…と考え、向かいにある八百屋さんの店頭のひさしを見てあれがあれば！とワクワクしました。以上が、大型プールと可動式屋根の購入をお願いした経緯となります。

助成決定の知らせをいただいた時は、感激と感謝の気持ちでいっぱいでした。贈呈式に行かせていただいた時は、あまりに不慣れな場所や雰囲気戸惑いつつも、感謝の気持ちが大きく上回っておりました。本当に、ありがとうございました。

2. 具体的な実施内容

大型プールを初めて目にした子ども達の表情は、驚きと「ワクワク」で満ち溢れていました。「おっきいねえ」「早くやって（入って）みたい！」と口々に話していました。今までのビニールプールの倍はある大型プールの中に大人も一緒に入り、一緒になって泳ぐことができました。園長である私は水遊びが大好きなので、夏はほぼ毎日水着で出勤し、子ども達とビショビショになっています。のびのびと遊べる感覚は、一緒に入って初めての感想です。

大型プールの中に、小型滑り台を設置し、ウォーターライダーとして盛り上がり、プールの中で椅子取りゲームをしたのも初の試みでした。うまく椅子に座れず尻もちをついた子が、顔についた水しぶきをパツパと払いながら「転んでも痛くないねえ」と言った時にはみんなで大笑いしました。また、これまで使っていたビニールプールに比べ、とても頑丈で、安心して遊べたと感じています。

庭の可動式屋根については、特にこの夏は雨天が多く、設置した当初から大活躍！となりました。雨天の日には、迷いなく可動式屋根を出し、庭での泥んこ遊びや色水遊びを思いきり楽しんだり、平均台などの運動遊びなどでたくさん体を動かすことができました。また、当保育室では、スイカ割り大会・流しそうめん大会・餅つき大会などの大きな行事の時に、小雨程度なら、屋根を出して予定通り開催しよう！ということができるようになりました。真夏に日差しが強すぎる時にも、大変便利に使用しています。





3. その成果と評価

上記でも述べたように、プールでののびのびとした水遊びでは、とにかく子ども達の「楽しみにしている」気持ちや、キラキラと輝いた表情、笑顔をたくさん見ることができました。のびのびと自ら体を動かすことこそ、心と体の成長を促し、たくさんの刺激を受けるのだと思います。思いきり体を動かし刺激を受けた子ども達は、毎日お腹ぺこぺこで、給食をもりもりと食べ、ぐっすりと眠ることができます。

可動式屋根の設置から、子ども達は元気に「外で」遊ぶことがもはやあたりまえのような感覚を持ち、雨の日に「残念」という気持ちではなく「じゃあ、何して遊ぼうか！」と意欲すら見せているように感じます。庭での遊びの充実化だけではなく、雨天時の発散遊びの幅が広がったのは、言うまでもありません。

当保育室のモットーは、「いっぱいわらお。」の他に、「思いきり遊ぶこと、たくさん食べること、安心して眠ること…こんなごくあたりまえのことをとつても大切にしています。」としています。これまで述べてきたことは、これらに通ずるものと、大変嬉しく思っております。

4. 今後の課題と展望

どんな日にも、元気に登園した子は元気に遊ぶ!!…ただし、ただ元気に遊ぶだけではなく、自発的に体を動かすためにはどうしたらより良いのかを、私達保育者は常に考え続けていかなければなりません。

寄付していただいた大型プールや可動式屋根の活用とともに、今後もずっと、「どうやったら子どもの健全な発育につながっていくのか」、「どうやったらもっともっと楽しいのか」、「どうやったら子どもの笑顔がいっぱいの日々が送れるのか」などを探りながら、保育に携わっていきたいと思います。我がまんまる保育室のモットー「いっぱいわらお。」につなげていく日々を送ることを、この場を借りてお約束させていただきます。

このたびは、子どもも大人も笑顔の増える大きな「プレゼント」を、本当にありがとうございました！

以上